

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和8年3月5日(木)
タイトル	普段は立ち入ることができない地下空間へご招待～大間々頭首工施設見学会～
水土里レポーター名	岡登堰土地改良区 主任 桐山 彰一

令和8年2月15日(日)、岡登堰土地改良区では、みどり市大間々町にある大間々頭首工の施設見学会を開催し、先着10名の方が県内各地から参加しました。一般の方へ用水路の水がどこから流れてくるのか、意外と身近な農業用水を知っていただく機会として、初めて開催しました。

大間々頭首工は、桐生市、太田市、みどり市の農地(1,111ha)へ農業用水を供給するため渡良瀬川から取水する施設で、地下約30mのところであり、県内の農業水利施設としては珍しい構造をしています。

農業に携わらない一般の参加者にも分かるような概要説明と渡良瀬川に架かる「はねたき橋」から取水口を見学した後、頭首工立坑内の階段を約30m下りて、バルブ室の見学を行いました。普段は立ち入ることができない立坑内の水利施設、1,600mmの導水管の迫力に驚いている様子も見られました。

参加者からは、貴重な体験ができた、とても楽しかった等の感想のほか、次回開催の希望や子供向け社会科見学の提案も寄せられました。

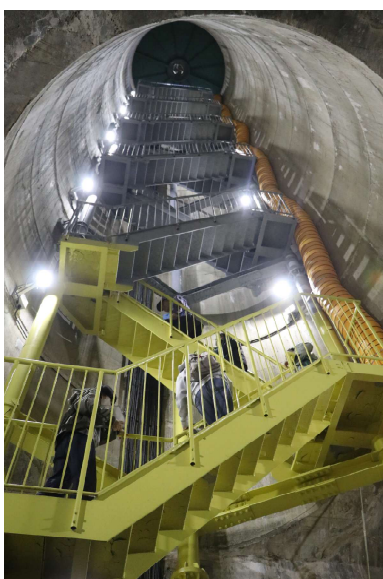
このような活動を通して、農業水利施設や土地改良区の役割についてなど1人でも多くの方に理解していただき、興味を持ってもらえたら嬉しいです。



大間々頭首工 立坑



はねたき橋からの見学の様子



→ 立坑内部



バルブ室見学の様子

【アンケート結果】

満足度平均(5段階評価) : 4.5